



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 撰取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



第47回南ブロック門徒子弟研修会
2018年7月29日(日)~31日(火)

箱根少年自然の家

お寺の林間学校 in 静岡東



長照寺からの参加者

お寺の林間学校(南ブロック門徒子弟研修会)
平成30年7月29日~31日 於・三島市立箱根の里

「真実の宝というのは
南無阿弥陀仏であり
これが信心である」
(蓮如上人御一代記聞書)



センプレアレルタ

(そなえよつねに)



住職
本持 愚山

九月五日〜十二日、第二の故郷南米はサンパウロ別院に行つてきました。21号台風で離陸できず心配でしたが羽田より出発、無事サンパウロに到着。宿泊地で海外版報道にて北海道の地震を知り、改めて哀悼の意を表すと共に被災されました方々にはお見舞い申し上げ、元の生活に早く戻れます様念ずる次第です。

さて、何用でブラジルまでかと言いますと、此度第二十五代専如ご門主様が南米各地へご巡回なされ、その折別院のスカウト発団五十周年記念式典へもご臨席賜る事となり、千載一遇の好機と頂き式典が開催されたのです。小生も活動の一躍を担つたと言う事でご案内状を頂き、本願寺教団総長より褒賞の栄に浴しました。南米教団よりは立派な楯を頂き二重の喜びと言う所で、ご門主様ご臨席もはばかりさらずガッツポーズをしてしまひ小生らしさをさらけ出した所です。

本堂での式典も終了し会館にて昼食、ブラジルの代表的食べ物シュラスコです。ご門主様と同じテーブルで少し緊張しながら懐かしく食した事で



す。ご門主様とは南米門信徒大会で再びお会いできるでしょうが、ご二行様と共に大会開催の地へ赴かれました。小生はと言いますと、式典・昼食会の参加者二百五十余名、全てスカウト関係者、OB、育成会員等々、小生が赴任した時より何十倍にも膨れ、当時南米教団に青少年教化の重要性をスカウト活動に見出す事を提案し、それが見事に花咲いたと自負しています。実はこれ程になるには一人の少年の存在を忘れてはなりません。

現在サンパウロ大学の経済学博士として教鞭をとっていますが、彼は隊員の二人としてスカウト活動に励んでいきたいのですが、他の隊員が制服を着てサッカーばかり、そこへ小生の赴任。現状を見た小生は早速にスカウト活動の基本を伝えなけ

ればと日本でのリーダーの資格は既に持っていたのでブラジルの資格をと研修所へ。取得後開教使の仕事も同時進行で隊員達に運動活動の重要性を伝えたのでした。彼は大変喜び中心的存在として小生が帰国した後も頑張ったのです。彼の名はシルビオよろう宮崎君。彼こそ現在のエスコテイロ(ボーイスカウト)67隊の立役者なのです。こうして懐かしさも手伝いこの日は夜遅くまで昔話に花を咲かせたのでした。次の日、南米門信徒会には元開教使として参拝し、昔の開教使方々と語り合い帰国の途についてたのです。

今回の渡伯は小生にとつて長照寺建立の基礎を南米日系社会で学ばせて頂き、その確認ができたと言つても過言ではない旅でした。三十年経った今、やはり多くの方々のお育てを受けながら長照寺の歴史が刻まれて行くでしょう。此度総代様がお二人代わられ、これも二ページになるとお互いに精進していきたいと思ひます。皆様これからどうぞ楽しいお寺であります様ご協力をお願ひ致します。

称名

お寺の林間学校

(南ブロック門徒子弟研修会)

●平成三十年七月二十九日～三十一日
●三島市立箱根の里



門信徒 藤澤 咲樹

て、じこしゅうかいをしました。
みんな明るくて、楽しそうなのはん
だな^ん。と思ひました。こねの里でごはん
を食べたり同じ部屋でねたりして
楽しかったです。二日目はふじ川でラフティング
をしました。はじめは楽しかった

わたしは、りんかん学校にはじめ
めて行きました。さいしょは、と
もだちができるかな。とふあんで
した。わたしは、はるばると、ま
はんとにグループかつどうをし



けれども、一度大へんな所にはま
てしまい、その後つかれてしま
ました。でも、またやってみ
たいと思ひました。
来年もさんかしたいです。



活動報告

平成三十年度上期

花まつり「お釈迦様の誕生日」

お参り後、映画鑑賞をし、お釈迦様のご生涯を学びました。



平成三十年四月七日
：五〇余名

第四十七回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成三十年四月十三日：大熱海国際ゴルフクラブ

優勝 江島 光明さん
準優勝 新井 香さん
第3位 佐藤 勝彦さん



静岡東組組会・総代研修会

静岡東組組会および総代研修会が当寺で開催されました。

講師 上原 大信師



平成三十年四月二十七日
：長照寺

東京教区仏教壮年会研修会

先輩方を敬いながら、若い方とも共生ともいぎの強化団体です。



平成三十年五月十九日
：築地本願寺

第十三回門信徒会親睦ボウリング大会

平成三十年六月二十四日：ジヨイランドボウルみしま

優勝 水谷 照美さん
準優勝 藤澤 直樹さん
第3位 本持 信宗さん



門信徒会定期総会

おかげ様で、各議案ともご承認いただき、新会長および新副会長等新役員が就任されました。

※6ページにも掲載

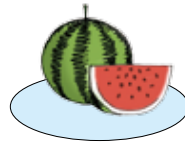


平成三十年七月二十一日
：五〇余名

境内清掃作業・親睦懇親会

平成三十年七月二十二日
…一〇〇余名

作業終了後の
スイカの味は
格別でした。



お寺の林間学校（南ブロック門徒子弟研修会）

平成三十年七月二十九日～三十一日
…三島市立箱根の里

静岡・神奈川・山梨県内の小学校
1年生～ 中学校3年生が集まり、
ラフティング・キャンプファイア・
ゲーム等を行いました。

※表紙・3ページにも掲載



合同盆法要（全八回）

平成三十年八月十三～十五日
…約二〇〇家族（約五〇〇名）

ご先祖様曰く
「皆が元気でうれしいよ。
これからも頑張って
楽しく生きてほしいな…」



門信徒のつどい（仏婦・仏壮研修会）

および静岡東組公開講座

平成三十年九月十六日
…ホテル暖香園サンテラス（伊東市）

「激変する社会」をテーマのもと、福田義朝師（本願寺布教研究課程講師）をお招きし、静岡東組内のご門徒の皆様と一緒に楽しく一席拝聴し、ご講演後は話し合い法座等交流をいたしました。
※写真は8ページに掲載

秋季彼岸会法要

ご講師 松山 北斗師



平成二十九年
九月二十三日
…一〇〇余名

チコちゃんに叱られる！



長照寺門徒総代 齋藤 善治

―気づきの大切さ―

「チコちゃん」は、NHKテレビのバラエティ番組に出てくる5歳の女の子です。彼女の発する「ボーと生きてんじゃねえよ!」という決め台詞がネットで話題になっています。

私もこの番組を見ていますが、毎日の生活の中で何気なく使っている言葉の本当の意味など何も知らないことに恥ずかしい思いをしています。自分もボーと生きているのだなーと気づく次第です。

私は長照寺の門をくぐって約二十五年になります。浄土真宗では、阿弥陀様の慈悲の光を感じ取ることが大切であると聴いてきました。

しかし、チコちゃん流に自分に問いかけてみるとまだ何もわかっていないのです。

いくらお念仏を称えてみても、それは空念仏、お念仏に込められた本当の意味すら分かっていないのです。「そんなことも分からずにナンマンダブー」といつて寺に参っているのか! ボーと生きてんじゃねえよ!」とチコちゃんに叱られている感じがしてなりません。

先日の秋季彼岸会で、ご講師の松山先生が阿弥陀様の慈悲

に気づいていったご自分の経験をお話して下さいました。阿弥陀様の本願を示す慈悲の光はどんな人にも等しく降り注がれており、それに気づくことにより人は変わっていくことを知りました。

―人間の安定のために―

「終わった人」という内館牧子氏の小説が話題になっているようです。定年退職後の心の不安定さを描いています。物質的な豊かさを追い求めて社会のために走り続けてきた人たちは、定年になると「終わった人」にされてしまいます。でも私たちはこころ豊かに生きる方法を知っています。

浄土真宗門徒の私たちは、「念仏者の生き方」というご親教を御門主からいただいています。

ここに示されている生き方は「終わった人の生き方」に対する回答と受け止めさせていただ



いています。

仏法を抛りどころとしていくことで、私たちは他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみや自らの苦しみとするなど阿弥陀様の本願になつた人生観に変わつていき、心豊かに生きる力が湧いてくるのです。高齢者でも終わった人などと呼ばれる必要はないのです。

―お寺を社会の「安心できる場所」に―

お寺は、葬式などの仏事の他に聞法の道場としての役目も持っています。

阿弥陀様の本願に集う私たちは、念仏という共通の言葉を持ち、お寺という共通の場所に集まって阿弥陀様の教えに耳を傾けることが出来ます。

阿弥陀様の「撰取不捨」という救いの言葉を有難くいただくなら何の心配も要らないのです。

お寺に集う多くの仲間とこのような生き方について言葉を交わすことが出来れば気持ち軽くなるはず。そんな雰囲気づくりができたらいなと思っています。

今回、門徒総代の役目を仰せつかりましたが、一人の念仏者として皆様と共に歩んでいきたいと思っています。いつでも声を掛けていただければ嬉しく思います。

合掌

御挨拶



長照寺門徒総代

三須 達男

此の度長照寺総代の大役を仰せつかりました三須達男です。私の様な者にこのような大役は無理かと思いますが、再度人選をと云う様な住職ではないので、名前だけですが受けさせて頂く事にしました。

今後皆様の力添えを頂き、御協力をお願い致します。簡単ですが挨拶にさせて頂きます。



合掌

門信徒会の新役員が決まりました

平成三十年七月二十一日に開催いたしました門信徒会定期総会において、各議案ともご承認いただき、新会長および新副会長が就任されました。

左記にて新役員の方々を紹介させていただきます。

△新役員▽

会長	齋藤 善治
副会長	三須 達男
代表理事	長島 政信
会計	藤澤 博
理事	園田 茂光
	菊澤 保信
	中野 光治
	元 盛郁
	髭 数久
	増島 工匠
	船坂 廣治
会計監査	杉山 秀雄

退任役員への謝意

今回退任された三名の皆様には、門信徒会二十五年の基礎を築いていただき、今日まで発展させていただきました。初代の会長・副会長として大変なご苦勞があったと思います。心から感謝申し上げます。

役員は退任はされましたが、今後ともお力添えをお願いいたします。



前副会長 桑原 明文氏 前会長 高橋 登志雄氏 前副会長 加藤 昭氏

今後の活動予定

平成30年

10月26日(金)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	三島ゴルフ倶楽部
10月31日 ～11月2日	門信徒会親睦研修旅行	愛知県内
11月18日(日)	報恩講法要・長照寺建立三十周年記念法要	本堂
12月2日(日)	境内清掃作業	境内
12月31日(月)	除夜会	本堂

平成31年

1月4日(金)	修正会・新年会	本堂
1月～日	ご正忌報恩講	西本願寺
2月17日～18日	仏教壮年会連盟結成記念日研修会	石和(山梨県)
3月21日(木)	春季彼岸会法要	本堂
4月14日(日)	寺報第41号発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
 気持ちが軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。)

門信徒のつどい(仏婦・仏壮研修会)・静岡東組公開講座

平成30年9月16日 於・ホテル暖香園サンテラス(伊東市)



福間 義朝 師 (本願寺布教研究課程講師)



編集後記

- ☆お寺からの便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成31年4月14日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
 〒411-0044三島市徳倉1195-817
 TEL・FAX 055-988-3900
 編集人=長島・菊沢・斎藤・園田・杉山